

## ☆多指揮界期待の星、佐々木新平先生にインタビュー☆多

問、指揮者は料理が得意の方が多いのですが、何か共通点があるのですか？★どうですかね、フランス語で料理人も指揮者もシェフといいます。いろんな素材をアレンジして引き出すのは同じだと思います。私の師である曾我先生も料理が得意でレッスン後でもまかないでルーマニア料理とか作ってくれます。

問、今回の曲目、特にシューマン、プロコフィエフは市響としても初めてなのですが、その聞き所とかは？

★2つの曲目を聞いた時、非常に市響は挑戦的だなと思いました。プロコフィエフは難しいし、シューマンは一筋縄ではいかない難しさがありますし。

問、ホルンは十数年来演奏したいという希望がやっと叶えられた感じですか。しかし良い曲ですね。★ホルンとオケがイーブンな感じですね。ホルンの日橋辰朗さんは日本管打楽器コンクールで1位となって読響の首席奏者となった逸材の方ですので共演は楽しみですね。

問、どのような曲がお好きですか？★わたしは何でも好きです。プロコは結構好きです。キャラクターがあって、独自の世界観があります。しいて上げればフランスものが好きですね。ラベル、ドヴィツシー、などですね。

問、私たちオペラが大好きなのですが、先生はどのようなオペラを振られましたか。★魔笛、カルメン、椿姫、ボエーム等で、この中でボエームは本当に大変で、言葉を完全に覚えていないと振れません。

問、留学はどちらに行かれましたか？★ミュンヘンに1年行きました。狭い地域のなかに3つのすぐれたオケがあって毎回リハを見せてもらいました。指揮者のなかでもヤンソンスが好きです、

問、「マエストロ」という映画で佐々木先生は西田敏行の指揮者指導と字幕に出ていましたが実際に指導なさったのでしょうか？★実際に指導しました。私はカメラワークを決めるため、武蔵野音大オケを使ってどの角度から撮影をしたらよいかなどテスト撮影したのですが、その最初から「マエストロ」の映画にはかかわっていません。それから西田さんの指揮のレッスンを数回やってあとミュンヘンに留学しました。帰ってからも劇場版のオケも実際に私が指揮して作り上げました。佐渡さんは字幕に完全監修と出ていましたが、後付けで、辻井伸行さんのピアノエンディングテーマが決まってそれから佐渡さんを持ってくればもっとインパクトがあるだろうということで、いつのまにか佐渡裕完全監修になったのです。西田敏行に直接指揮を指導したのは1回だけですが佐渡カラーになりました。コンマス役の松坂桃李君も頑張ってヴァイオリンのレッスンをして臨みました。

（「マエストロ」という映画は本当に素晴らしい映画で、内容もオケマンでないといけない内部事情が描かれ、演奏は佐渡裕指揮ベルリン交響楽団の「運命」と「未完成」で感動的でした。ぜひご覧ください。この後しばらく「マエストロ」談義が続き花が咲きました。その後今年3月市川第九を指揮していただいた佐々木先生の師である、曾我大介氏の話となりまして。厳しいが優秀で頭が良く、7か国語位話せるそうです。まだまだ話は尽きませんでしたが、紙面の都合上このへんで失礼いたします。星)

＜シューマン作曲4本のホルンの為のコンチエルトシュトック＞  
1番ホルンを吹く日橋辰朗氏  
(読売日響首席奏者)

♪～ロッシェニ作曲「ウイリアム・テル」序曲～♪

の冒頭の部分「夜明け」では、チェロ、コントラバス、チンパニだけで演奏される序奏が聞き所です。なかでも、チェロは、5人の独奏が指定されています。その美しい音色をお楽しみ下さい。



✿ シューマン作曲4本のホルンの為のコンチエルトシュトック、 ✿

写真左から第2Horn 近藤利昭、指揮者佐々木新平、第1日橋辰朗、第4嶋村恒夫、第3林田明子の各氏



☆ 指揮界期待の星、佐々木新平先生にインタビュー ☆

市響弦楽器4人の首席奏者・立田祥子、武藤敦子・内田綾美・福原耕二各氏とVlaで編集委員の星乗昭が6月25日、市川市文化会館での練習後、隣のデニーズにてインタビューをいたしました。紙面の都合上、要点のみを記載させていただきました。ご了承下さい。なお質問はコンミスの立田さん主導で行われました。(星)



問、某コンミスがとても背が高く首が痛くなるわよといわれましたが、身長は？★身長は185cmあります。

問、ご趣味は？★料理、小学校ではバスケットボールで、スポーツ全般ですね。登山、そして出身が秋田で、すぐそばが海なので水泳は得意です。

問、スポーツ少年の先生が音楽を始めるきっかけは？★母がエレクトーンの先生でしたので、ずっと弾いていましたが、小・中学生の時急に身長が伸びて成長痛で膝が痛くなったので、中学では楽譜も読めるので華のある吹奏楽部に入り、楽器は身長が高いし、手も長いのでトロンボーンになりました。高校は進学校で吹奏楽コンクール全国大会常連校の秋田南高校に入って2回全国大会に出場しました。それで音楽の先生になろうと思って学芸大学の音楽学部にはいりました。

問、指揮者になろうと思われたのはいつ頃ですか？★4年後秋田に帰って音楽の先生になろうと思ったのですが、音楽の授業時数が減り、子供の数も減って、そもそも募集がなくて、だったら将来的に先生になるにしても指揮を勉強した方が良いのではないかと思って桐朋の指揮研究科に入って勉強しました。もう一つの理由は、教育実習に行ってみて、子供は本物か、そうではないかを見分ける力がすごいと感じました。どうせならプロになって本物を知ってから教師になろうかなとも思いました。しかしプロになった今からは無理ですね。今東京シティーフィルのアソシエイトコンダクターですが、そこでテイアラ江東のジュニアオケの音楽監督も兼ねているので、2週に一度位見えています。また吹奏楽の指揮を頼まれたりします。